

福島第一原子力発電所の状況

平成 23 年 12 月 22 日
東京電力株式会社

<タービン建屋地下のたまり水の処理>

高濃度の放射性物質を含むたまり水の処理設備及び貯蔵設備の状況

[処理設備]

- ・6/17 20:00 放射性物質除去装置の本格運転を開始。
- ・6/24 12:00 淡水化装置(逆浸透膜式)における処理を開始。
- ・6/27 16:20 循環注水冷却を開始。
- ・8/7 16:11 蒸発濃縮装置の本格運用を開始。
- ・8/19 19:33 第二セシウム吸着装置(B系ライン)を起動し、セシウム吸着装置および除染装置との並列運転によるたまり水の処理を開始。19:41 定常流量に到達。
- ・12/21 1:40 頃 淡水化装置(逆浸透膜式)2 - 2において、マルチメディアフィルタの逆洗水ドレン弁の閉動作が規定の時間内に行われなかったことを示す警報が発生し、当該ユニットが自動停止。なお、現場において水漏れがないことを確認。また、淡水化処理した水は十分にあることから、原子炉注水への影響はなし。淡水化装置(逆浸透膜式)3は起動可能な状態。その後、弁の動作確認等の調査を行った結果、設備に異常がないことから、一過性の現象であると推定。
- 10:20 頃 当該ユニットを再起動。

[貯蔵設備]

- ・6/8 ~ 汚染水・処理水を貯蔵・保管するための大型タンクを順次輸送、据付。

トレンチ立坑・各建屋地下のたまり水の移送状況

号機	排出元 移送先	移送状況
2号機	・2号機タービン建屋 集中廃棄物処理施設[プロセス主建屋、雑固体廃棄物減容処理建屋(高温焼却炉建屋)]	・12/21 13:57 ~ 移送実施中
3号機	・3号機タービン建屋 集中廃棄物処理施設[プロセス主建屋]	・12/15 14:22 ~ 12/17 10:04 移送実施
6号機	・6号機タービン建屋 仮設タンク	・12/22 移送予定なし

移送先	移送先の水位状況 (12/22 7:00 時点)
プロセス主建屋	水位: O.P.+ 1,737 mm(水位上昇累計: 2,954 mm) 12/21 7:00 から 186 mm 上昇
雑固体廃棄物減容処理建屋 (高温焼却炉建屋)	水位: O.P.+ 1,853 mm(水位上昇累計: 2,579 mm) 12/21 7:00 から 137 mm 上昇

トレンチ立坑・タービン建屋・原子炉建屋の水位 (12/22 7:00 時点)

	トレンチ立坑	タービン建屋	原子炉建屋
1号機	O.P. <+ 850 mm (12/21 7:00 と同じ)	O.P.+ 3,358 mm (12/21 7:00 から 26 mm 上昇)	O.P.+ 4,231 mm (12/21 7:00 から 11 mm 下降)
2号機	O.P.+ 3,051 mm (12/21 7:00 から 68 mm 下降)	O.P.+ 3,043 mm (12/21 7:00 から 63 mm 下降)	O.P.+ 3,183 mm (12/21 7:00 から 47 mm 下降)
3号機	O.P.+ 3,193 mm (12/21 7:00 から 17 mm 上昇)	O.P.+ 3,166 mm (12/21 7:00 から 17 mm 上昇)	O.P.+ 3,411 mm (12/21 7:00 から 22 mm 上昇)
4号機	-	O.P.+ 3,134 mm (12/21 7:00 から 3 mm 上昇)	O.P.+ 3,152 mm (12/21 7:00 から 15 mm 上昇)

< 放射性物質のモニタリング >
 海水核種分析結果(参考値)

採取場所	採取日	採取時間	濃度限度比(倍)		
			ヨウ素-131	セシウム-134	セシウム-137
福島第一 5,6号機放水口北側約 30m	12/21	8:45	ND	0.06	0.05
福島第一 1~4号機放水口南側約 330m	12/21	8:20	ND	0.04	0.03

・その他、福島第一原子力発電所沿岸2地点(12/21 採取分)、沖合13地点(12/20 採取分)における主要3核種(ヨウ素-131、セシウム-134,137)は全てND。

< 使用済燃料プールの冷却 > (12/22 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	プール水温度
1号機	循環冷却システム	運転中	11.0
2号機	循環冷却システム	停止中	22.4
3号機	循環冷却システム	停止中	13.0
4号機	循環冷却システム	運転中	20

- [2号機]・12/20 15:03 ~ 使用済燃料プール循環冷却システムの流量計点検のため、当該システムを停止。
 冷却停止時温度:15.4。12/23 14:00 頃まで停止予定。この間の温度上昇は約 21 と想定。
- [3号機]・12/22 9:43 ~ 11:06 使用済燃料プール循環冷却システムの1次系循環ポンプの吸込圧力に低下傾向が見られることから、同ポンプの入口側ストレーナをフラッシングするため、当該システムを停止。冷却停止時温度 13.0、冷却再開時温度 13.0。
 ・12/22 13:30 ~ 15:15 使用済燃料プールへヒドラジンを注入(約 2m³)。
- [4号機]・11/29 ~ 使用済燃料プールの塩分除去のため、イオン交換装置の運転を開始。

< 原子炉压力容器への注水・原子炉の状況 > (12/22 11:00 時点)

号機	注水状況	給水ノズル温度	原子炉压力容器下部温度	原子炉格納容器圧力
1号機	淡水注入中 (給水系:約 4.5 m ³ /h, 炉心スプレイ系:約 2.0 m ³ /h)	29.6	30.2	106.2 kPaabs
2号機	淡水注入中 (給水系:約 2.7 m ³ /h, 炉心スプレイ系:約 6.0 m ³ /h)	58.5	61.0	111 kPaabs
3号機	淡水注入中 (給水系:約 2.9 m ³ /h, 炉心スプレイ系:約 6.0 m ³ /h)	53.3	60.8	101.6 kPaabs

[4号機][5号機][6号機]・特に変化なし

< その他 >

- ・10/7 ~ 伐採木の自然発火防止や粉塵の飛散防止を目的として、5,6号機滞留水浄化の水を利用し、散水を継続実施中。
- ・12/19 18:00 試運転中の1号機原子炉格納容器ガス管理システムにおいて、放射性物質の除去状況や水素濃度を監視してきており、いずれも異常がなく安定していることが確認できたことから、本格運転に移行。
- ・12/22 10:11 5号機補機冷却海水系ポンプ(B)の復旧工事が完了したため、当該ポンプの試運転を開始。
 11:25 運転状態に異常がないことを確認したため、本格運用を開始。
- ・12/22 10:00 ~ 11:40 発電所敷地内の線量率を測定するモニタリングポストNo.2 およびNo.8の伝送部品の交換作業を実施。なお、本作業に伴い、モニタリングポストNo.8について、11:10 ~ 11:40の間、データが欠測(モニタリングポストNo.2についてはデータ欠測なし)。
- ・12/22 10:35 1号機原子炉格納容器への窒素封入および原子炉格納容器ガス管理システムからのガス排気量について、これまでの運転実績を踏まえ、原子炉格納容器への窒素封入量を約 18 m³/h から約 13 m³/h に調整。
 11:45 原子炉格納容器への窒素封入量の減少に伴い、原子炉格納容器ガス管理システムからの排気量が約 30 m³/h から約 26.9 m³/h へ減少したことを確認。